

まったく接点のない所で生きて来たが、あえて、二人の共通のキーワードは何かといえば、先ほども書いた「弱きを助け、強きをくじく」という「日本精神」が脈々と流れているからだと思う。読者の皆さんに「木村隆司」氏という人物がどんな人物なのかご理解いただけたらどうか。

氏は現在、テレビ局を円満退社し、会社を興して頑張っておられるが、朝鮮学校に地方自治体が補助金の支出をしている問題については、木村氏もかねてより義憤を感じておられ、この問題は無視できないと、今後、大がかりな組織を立ち上げるための根回しを地方議員を含め、水面下で動いてくださっているのである。

救う会広島としては、予定どおりその組織が立ち上がれば、どんなかたちであれ参画し、良い結果を出す為に頑張っていきたいと思うし、個人としても、おおいに期待しているところである。

朝鮮学校にビタ一文出さな!

「まったくあきれた話です」

元朝鮮学校教員 朴 成喆 (パクソンチヨル)

去る十月二日、産経新聞は神奈川県で総連の学校が、高級学校の「現代朝鮮史」の教科書を訂正せず、偽装したコピーをだして補助金をだまし取ったと伝えた。実際には教科書は訂正されず、子供たちには、校長が「教科書を外部にみせるな」と訓示し、教科書の表紙に名前を大きく書かしていたという。

そればかりか、朝鮮高級学校への無償化適用を審査している文科省に、「ダミー版」教科書を出し、組織的に改訂を装ったのだから、何をか言わん。

まったくあきれた話、いや、恥らしい話だ。そして、憤りをおさえることができない。

ノミヤシラミにもそれなりの顔がある、というのに、こんな恥さらしなはない。朝鮮総連は、人間としての最低の良心すらも失った詐欺集団にひとしい。

どうして、すぐにはれそうなこんなペテンを繰り返すのだろうか。それだけ、学校運営が行きつまっているからだろうか。それとも、將軍さまの「教示」が絶対的なものだから、なりふりかまわずこのような行為を繰り返すのだろうか。

総連は、全国の高級学校に指令をだし、組織的に隠ぺい工作をしたのだ。たまたま、横浜に住む家内の姪の子が、高級班三年生であることを思い出し、電話をかけてみた。すると教科書の内容は去年のままだし、副教材などもらった覚えもないとのことだった。それよりも、ある子が「産経」の記事を学校に持ってきて回し読みをしていて、先生にこっぴどく叱られたというのであった。子供たちが、これに関心を示すのも当たり前のはなしであらう。

新刊

萩原遼さん、井沢元彦さんの対談が新書版に

いま問題の朝鮮学校の教科書がその中身です。萩原さんは昨年3月から「門外不出」といわれた朝鮮高校の歴史教科書全3巻を入手し翻訳。さらに中学歴史教科書も翻訳したひとり。「朝鮮高校への税金投入に反対する専門家の会」の代表として世論を盛り上げ、運動をリードしてきた人です。井沢さんは日本歴史の専門家としてユニークな視点で縦横に活躍する作家でもあります。朝鮮総連は朝鮮学校の教育に日本の公金を要求しはじめたことから問題が発生。税金投入は是か、非か。タイミング良い時期に出ました。広く論議を起こす材料となるでしょう。ご一読をお勧めします。

(「光射せ!」編集部)

祥伝社 03-3265-2081 (販売部)
11月10日から全国の書店で販売
定価780円+税

「門外不出の教科書を翻訳して検証」

こんな学校に、なぜ日本の税金を使うのか?!

金目成、金正日父子の神格化、朝鮮戦争、大韓航空機事件、日本人拉致事件は、こう教えられていた

978-4-326-11257-6

神奈川県は、偽りのコピーだけで審査をパスさせた。

その報告をうけた黒岩知事は、「『拉致問題』という文言が消えているだけではないか」と、激怒したというが、これは、総連が県と県民をナメきった許しがたい犯罪行為である。

総連はことあるごとに、「人権」「平等」「民族的権利」「朝日友好」をとらえてきたが、その正体が何なのかを、日本政府も自治体もそろそろ見抜かなければならない。

これはまた、在日を真面目に生きようとする多くの同胞と子供たちへの、裏切りであり、迷惑千万、許されない蛮行である。

「米日反動は、偉大な將軍さまのまわりに固く団結して、日々発展する祖国と総連、そしてウリ学校を潰そうとしています。それで高校授業料無償化の適用をはずし、教育内容や教科書ににくせをつけています。また、反動分子共は、教科書を手に入れて日本語に訳したりしています。だから、外部の人にもらさないように名前を書きます。そして、つねに警戒心を持たなくてはなりません」と、先生たちは、子供たちに語っているのである。

これが、学校現場で総連が行っている「常套手段」

二か月ほど前、朝鮮学校に子供をかよわせているある教え子が、「…大阪府知事がいった、『子どもたちには罪はありません。問題はナチのような金正日と総連が問題だ』との言葉は、その通りでなにも間違っていないと思います」と話していた。なぜか、彼の顔が思い出されるのであった。

この度の問題で、横田めぐみさんの父・横田滋氏は「日本にすむ子供の教育という観点からからしても、…とんでもないことだ」と、語ったという。

関西大学の李英和先生は、「教科書を『機密文書』のように扱うこと自体、教科書に問題があると認めたようなもの。子供に教科書を外部の人に見せないようにとは、教育の体をなしていない。…総連の教育体制そのものが聞かれるべきだ」と、話している。

「朝鮮学校への税金投入に反対する専門家の会」の萩原遼代表も、高級学校の教科書「現代朝鮮歴史」の日本語刊行にあたり、「朝鮮学校側は教科書をあたかも秘密文書のように隠している」と、痛烈に指摘していた。

菅直人前日本国総理は、辞任の日の午前に出した最後の指令が他でもなく、金日成一族に忠誠をつくす革命戦士養成の学校である朝高への、授業料無償化を検討させ

だから。

教師は、金正日独裁と総連中央のプロパガンダの重要な一翼をになうスピーカーでしかなく、「偽り」の思想教育の担当者である。

近年、朝鮮人学校では日本人市民を招いての公開授業がさかんに行われている。そのときは、せいっぱいに「朝日友好」をうたい、「質問には、こう答えなさいとの『演出教育』が行われている。「反日教育」などもつての外だし、あの「日本人拉致問題の極大化」などの授業や、金日成親子への崇拜・礼賛教育もありえないことになっている。

子供たちにはなんの罪もない。幼いころから学校現場で、このような裏と表を、吹きこまれていく。これだと、子供たちの人間形成はいびつにしかならない。これは、教育ではなく、罪悪であり犯罪である。

わたしは、かつてこの朝鮮人学校の教師であったが、その間違った「教育」の片棒を担いだことをじつに恥ずかしく思う。そして、いまま総連中央の指令通り、子供たちに「さあ、みんな教科書の表紙に大きな字で名前を書きなさい」と指導する、いや、そうするしかない教師たちが「哀れ」に思われる。

するための指示だったということは、何を意味するのであるのか！ 原敕晃氏を拉致した北の工作員辛光洙を政治犯だとして、盧武鉉大統領に保釈願書送った、菅前総理の思想構造がそうさせたのだろう。それとも、韓国の左派徒北分子らへの義理立てであろうか！

上でも書いたが、日本政府はこれだけ小馬鹿にされ、また、神奈川県だけでなく、福岡での補助の二重取りなど、総連の卑劣な手法に踊らされていながらも、無償化と補助金を出そうというのであろうか！

どうか、この事態を直視していただきたい。日本政府は朝鮮学校への授業料無償化を適用すべきではない、そして、朝鮮学校に補助金を出している自治体は、「即刻補助を打ち切るべきだ！」と強く訴えたい。

